

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年10月30日

上場会社名 株式会社スカパーJSATホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 9412 URL http://skyperfectjsat.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田 真治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 仁藤 雅夫 TEL 03-5571-1500
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月1日 配当支払開始予定日 平成25年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	82,804	5.5	10,903	33.2	10,881	36.8	6,527	31.2
25年3月期第2四半期	78,515	1.9	8,187	△29.2	7,952	△27.6	4,974	△23.0

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 7,459百万円 (54.8%) 25年3月期第2四半期 4,818百万円 (△30.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	19.39	—
25年3月期第2四半期	14.77	—

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	299,422	198,350	66.1	588.24
25年3月期	290,486	192,693	66.2	571.33

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 197,975百万円 25年3月期 192,282百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	600.00	—	600.00	1,200.00
26年3月期	—	600.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

平成26年3月期(予想)期末の配当金については、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株を100株に分割する株式分割を考慮した額を記載しております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	164,000	2.8	17,000	5.2	16,500	5.1	10,000	3.3	29.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

平成26年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株を100株に分割する株式分割を考慮した額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	344,603,700株	25年3月期	344,603,700株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	8,051,800株	25年3月期	8,051,800株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	336,551,900株	25年3月期2Q	336,551,900株

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4 「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

（株式分割について）

当社は、平成25年5月8日開催の取締役会において、株式の分割及び単元株制度の採用について決議し、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株を100株へ分割し、単元株数を100株といたしました。これに伴う平成26年3月期の配当予想及び連結業務予想については、該当項目をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、平成25年10月31日に証券アナリスト、機関投資家向けの決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容（音声）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出関連で持ち直しの動きが継続する中で、公共投資が堅調に推移していることや企業収益が改善していること等の理由から、緩やかに回復しつつあります。

このような経済状況の下、当社グループは、有料多チャンネル事業におけるスカパー！サービスを中心とした顧客獲得施策や、スカパー！プレミアムサービスでのハイビジョンを中心としたH.264方式によるサービス（以下「ハイビジョンサービス」）への加入者移行、宇宙・衛星事業における企業・官公庁のBCP（事業継続計画）向けソリューションの提供やグローバルビジネスの強化、移動体衛星通信ビジネスの拡大に積極的に取り組むなど、中長期的な成長戦略を着実に推進いたしました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は次のとおりとなりました。

区 分	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同四半期比 (百万円)	増 減 率 (%)
営 業 収 益	78,515	82,804	4,288	5.5%
営 業 利 益	8,187	10,903	2,715	33.2%
経 常 利 益	7,952	10,881	2,929	36.8%
税金等調整前四半期純利益	7,971	10,945	2,974	37.3%
四 半 期 純 利 益	4,974	6,527	1,553	31.2%

①営業収益

営業収益は、視聴料収入の増加等により、前年同四半期比4,288百万円増の82,804百万円（前年同四半期比5.5%増）となりました。

②営業利益

営業利益は、営業収益が増加した一方で、番組供給料やハイビジョンサービスへの加入者移行費用が増加した影響等により、前年同四半期比2,715百万円増の10,903百万円（前年同四半期比33.2%増）となりました。

③営業外損益及び経常利益

営業外損益は、営業外収益が前年同四半期比100百万円増の354百万円、営業外費用が前年同四半期比113百万円減の375百万円となり、純額で21百万円の損失となりました。この結果、経常利益は前年同四半期比2,929百万円増の10,881百万円（前年同四半期比36.8%増）となりました。

④特別損益及び税金等調整前四半期純利益

特別損益は、特別利益が前年同四半期比52百万円増の74百万円、特別損失が前年同期比7百万円増の10百万円となったことから、純額で64百万円の利益となりました。この結果、税金等調整前四半期純利益は前年同四半期比2,974百万円増の10,945百万円（前年同四半期比37.3%増）となりました。

⑤法人税等合計及び四半期純利益

法人税等合計は、過年度に計上した投資有価証券評価損の一部を損金に算入した前年同四半期に比べ1,498百万円増の4,445百万円となりました。この結果、四半期純利益は前年同四半期比1,553百万円増の6,527百万円（前年同四半期比31.2%増）となりました。

当社グループのセグメント別の概況は次のとおりです。（業績については、セグメント間の内部営業収益等を含めて記載しております。）

<有料多チャンネル事業>

（加入者獲得に向けた取り組み）

加入者獲得施策の柱となるコンテンツ強化策として、「鬼平外伝 老盗流転」などのオリジナル時代劇シリーズをはじめとする多彩なジャンルにわたって番組を拡充し、加入者基盤拡大のための各種施策を推進いたしました。

さらに加入者の視聴環境を改善すべく、スカパー！プレミアムサービスDVRの新機種として、「同名番組検索」「追跡番組予約」および無線LAN（Wi-Fi）といった新機能を搭載した「TZ-WR500P（パナソニック製）」の販売およびレンタルを平成25年9月より開始いたしました。

（「スカパー！プレミアムサービス」のハイビジョンサービスへの移行）

当社グループは「スカパー！プレミアムサービス」（一部チャンネルを除く）のMPEG-2方式による標準画質サービスを平成26年5月に終了することを決定し、MPEG-2方式による標準画質サービスの既存加入者をできるだけ多くハイビジョンサービスに移行させることを最優先課題とし、「スカパー！プレミアムサービス」の加入者基盤の維持、拡大を推進しております。当第2四半期連結累計期間におけるハイビジョンサービスへの移行件数は171,850件、累計加入件数は1,178,907件になりました。

(ビデオ・オン・デマンドサービスの取り組み)

マルチデバイス対応型オンデマンドサービス「スカパー！オンデマンド」につきましては、既存有料放送加入者への付加価値サービスとしての機能を拡充しつつ、オンデマンドサービス独自の新規会員獲得も視野に、積極的な取り組みを行っております。

対応端末の拡充も進んでおり、平成25年8月からは、西日本電信電話株式会社が提供するテレビでインターネットを介した映像を視聴可能にするセットトップボックス「光BOX+」（情報機器）で、「スカパー！オンデマンド」のアプリケーションが利用可能となりました。

(スーパーハイビジョン「4K/8K」放送への取り組み)

当社グループは、高度な次世代放送サービスに関する技術的な検証を行い、世界に先駆けて4K/8K放送等のトライアルサービスの開始と普及を推進するために平成25年5月に設立された「次世代放送推進フォーラム」に参画しております。また「スカパー！プレミアムサービス」の標準画質サービス終了後に空くトランスポンダ（電波中継器）を利用した4K放送の早期実現に向けて積極的に貢献してまいります。

当第2四半期連結累計期間における加入件数は次のとおりとなりました。

新規加入件数	再加入件数	解約件数	純増数	累計加入件数
242,728件	44,382件	341,273件	△54,163件	3,775,246件

新規加入件数は、前年同四半期比53,158件減の242,728件、解約件数は前年同四半期比9,219件増の341,273件となり、再加入件数を加えた純増数は前年同期比58,615件減の△54,163件、累計加入件数は3,775,246件となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の有料多チャンネル事業の業績は次のとおりとなりました。

	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同四半期比 (百万円)	増減率 (%)
営業収益				
外部顧客への営業収益	54,550	58,716	4,165	7.6%
セグメント間の内部営業収益等	2,315	2,375	60	2.6%
計	56,866	61,091	4,225	7.4%
セグメント利益又は損失(△)	△16	1,580	1,597	—

(注) 前第2四半期連結累計期間はセグメント損失であるため、セグメント利益又は損失(△)の増減率を記載しておりません。

営業収益は、スカパー！プレミアムサービスへの移行の進展にともなう視聴料収入の増加等により、前年同四半期比4,225百万円増の61,091百万円（前年同四半期比7.4%増）となりました。セグメント利益は、番組供給料、ハイビジョンサービスへの加入者移行費用が増加したものの、営業収益の増加により前年同期比1,597百万円増の1,580百万円となりました。

<宇宙・衛星事業>

(国内BCP需要への対応)

東日本大震災以降、災害対策・事業継続計画（BCP）対策としての衛星通信の評価が再び高まっており、その需要が拡大しております。当社グループは現在、国内BCP需要への対応としてEsBirdやExBird等の衛星ソリューションサービスの積極的な販売を展開しております。

(海外衛星ビジネスの拡大)

海外市場においては、アジアを中心とするグローバル市場への拡大を積極的に推進しております。平成24年5月に打ち上げに成功した通信衛星「JCSAT-4B」の衛星回線を利用して、平成25年9月にはインドネシアのLIPPOグループによる同国内向けの衛星放送（DTH）事業「BiG TV」が放送を開始いたしました。

また平成25年7月からSuperbird-C2での利用も開始されるなど、米国政府機関向けのトランスポンダ（衛星中継器）提供も拡大しております。

(移動体衛星通信ビジネス)

前連結会計年度に引続き、船舶向けインターネット接続サービス「OceanBB」や米国Panasonic Avionics社が提供している航空機内ネット接続サービス「eXConnect」での当社衛星回線利用などにより、移動体衛星通信ビジネスを拡大させております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の宇宙・衛星事業の業績は次のとおりとなりました。

	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同四半期比 (百万円)	増減率 (%)
営業収益				
外部顧客への営業収益	23,964	24,088	123	0.5%
セグメント間の内部営業収益等	3,270	4,101	830	25.4%
計	27,235	28,189	954	3.5%
セグメント利益	8,526	9,594	1,068	12.5%

営業収益は、国際サービス収入の増加等により前年同四半期比954百万円増の28,189百万円（前年同四半期比3.5%増）となりました。セグメント利益は、前年同四半期比1,068百万円増の9,594百万円（前年同四半期比12.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は299,422百万円となり、前連結会計年度末に比べて8,935百万円増加いたしました。主な増加は有価証券12,997百万円、仕掛品3,737百万円であり、主な減少は有形固定資産及び無形固定資産5,572百万円、売掛金1,929百万円、貸付金614百万円等であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は101,072百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,278百万円増加いたしました。主な増加は前受収益5,991百万円、未払法人税等2,467百万円であり、主な減少は未払金4,393百万円等であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における少数株主持分を含めた純資産は198,350百万円となり、前連結会計年度末に比べて5,656百万円増加いたしました。主な増加は四半期純利益6,527百万円であり、主な減少は剰余金の配当金の支払2,017百万円等であります。また、自己資本比率は66.1%となり、前連結会計年度末と比べて0.1ポイント減少いたしました。

(キャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益10,945百万円に加え、減価償却費12,490百万円及びのれん償却額439百万円、前受収益の増加5,991百万円等があり、20,760百万円の収入（前年同四半期は24,835百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、長期貸付金の回収による収入1,169百万円、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出7,684百万円等により、6,221百万円の支出（前年同四半期は9,000百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金支払による支出2,017百万円及び長期借入金の返済による支出3,658百万円等により、2,871百万円の支出（前年同四半期は7,838百万円の支出）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ11,919百万円増加し、86,392百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績につきましては、平成25年5月8日公表の「平成25年3月期決算短信」に記載の連結業績予想を変更していません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,478	42,400
売掛金	19,793	17,864
有価証券	31,994	44,991
番組勘定	3,482	2,978
商品	215	1,269
仕掛品	178	3,916
貯蔵品	440	444
未収入金	597	446
繰延税金資産	1,354	1,401
短期貸付金	2,114	2,409
その他	2,497	2,287
貸倒引当金	△715	△668
流動資産合計	104,431	119,741
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,938	11,460
機械装置及び運搬具（純額）	19,757	19,621
通信衛星設備（純額）	100,532	93,631
土地	3,041	3,041
リース資産（純額）	2,623	1,387
建設仮勘定	669	4,774
その他（純額）	3,194	3,212
有形固定資産合計	141,758	137,129
無形固定資産		
のれん	7,970	7,531
ソフトウェア	4,368	3,891
その他	121	93
無形固定資産合計	12,460	11,516
投資その他の資産		
投資有価証券	19,634	19,292
長期貸付金	2,114	1,205
繰延税金資産	7,609	8,028
その他	2,529	2,558
貸倒引当金	△52	△50
投資その他の資産合計	31,835	31,034
固定資産合計	186,055	179,681
資産合計	290,486	299,422

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	783	600
1年内償還予定の社債	—	20,000
1年内返済予定の長期借入金	12,256	11,848
未払金	15,460	11,066
未払法人税等	2,451	4,918
視聴料預り金	10,233	10,249
賞与引当金	477	468
資産除去債務	300	314
その他	9,365	13,682
流動負債合計	51,329	73,149
固定負債		
社債	20,000	—
長期借入金	17,142	18,892
繰延税金負債	892	1,086
退職給付引当金	3,729	3,817
役員退職慰労引当金	6	6
資産除去債務	1,985	2,040
その他	2,707	2,079
固定負債合計	46,463	27,922
負債合計	97,793	101,072
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	158,193	158,193
利益剰余金	27,881	32,615
自己株式	△3,883	△3,883
株主資本合計	192,191	196,925
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	858	1,134
繰延ヘッジ損益	367	244
為替換算調整勘定	△1,135	△329
その他の包括利益累計額合計	90	1,050
少数株主持分	410	374
純資産合計	192,693	198,350
負債純資産合計	290,486	299,422

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業収益	78,515	82,804
営業原価	52,606	54,128
営業総利益	25,908	28,676
販売費及び一般管理費	17,720	17,772
営業利益	8,187	10,903
営業外収益		
受取利息	181	204
受取配当金	48	50
為替差益	—	22
その他	23	76
営業外収益合計	253	354
営業外費用		
支払利息	353	333
持分法による投資損失	21	28
為替差損	88	—
その他	26	12
営業外費用合計	488	375
経常利益	7,952	10,881
特別利益		
投資有価証券売却益	—	74
新株予約権戻入益	22	—
その他	—	0
特別利益合計	22	74
特別損失		
固定資産売却損	2	4
投資有価証券償還損	—	6
特別損失合計	2	10
税金等調整前四半期純利益	7,971	10,945
法人税、住民税及び事業税	2,754	4,952
法人税等調整額	193	△506
法人税等合計	2,947	4,445
少数株主損益調整前四半期純利益	5,024	6,500
少数株主利益又は少数株主損失(△)	50	△27
四半期純利益	4,974	6,527

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,024	6,500
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△197	272
繰延ヘッジ損益	△142	△130
為替換算調整勘定	143	806
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	11
その他の包括利益合計	△205	959
四半期包括利益	4,818	7,459
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,768	7,486
少数株主に係る四半期包括利益	50	△27

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,971	10,945
減価償却費	12,615	12,490
のれん償却額	439	439
受取利息及び受取配当金	△229	△255
支払利息	353	333
持分法による投資損益(△は益)	21	28
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△74
投資有価証券償還損益(△は益)	—	6
売上債権の増減額(△は増加)	239	2,018
番組勘定の増減額(△は増加)	1,789	504
未収入金の増減額(△は増加)	3,174	150
たな卸資産の増減額(△は増加)	△53	△4,795
未払金の増減額(△は減少)	△2,157	△4,397
視聴料預り金の増減額(△は減少)	△2,647	15
前受収益の増減額(△は減少)	7,143	5,991
その他	655	△27
小計	29,314	23,375
利息及び配当金の受取額	242	199
利息の支払額	△370	△370
法人税等の支払額	△4,350	△2,444
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,835	20,760
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,793	△7,160
有形固定資産の売却による収入	35	0
無形固定資産の取得による支出	△1,202	△523
投資有価証券の取得による支出	—	△69
投資有価証券の売却及び償還による収入	539	1,278
関係会社株式の取得による支出	△486	△913
長期貸付金の回収による収入	974	1,169
その他	△67	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,000	△6,221
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,020	△1,669
長期借入れによる収入	—	4,483
長期借入金の返済による支出	△4,794	△3,658
配当金の支払額	△2,017	△2,017
少数株主への配当金の支払額	△6	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,838	△2,871
現金及び現金同等物に係る換算差額	43	252
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	8,039	11,919
現金及び現金同等物の期首残高	66,404	74,472
現金及び現金同等物の四半期末残高	74,444	86,392

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	有料多チャンネル事業	宇宙・衛星事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
営業収益					
外部顧客への営業収益	54,550	23,964	78,515	—	78,515
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	2,315	3,270	5,586	△5,586	—
計	56,866	27,235	84,101	△5,586	78,515
セグメント利益又は損(△)	△16	8,526	8,509	△321	8,187

(注1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△321百万円には、セグメント間取引消去81百万円と、各報告セグメントに配分していない全社費用△402百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	有料多チャンネル事業	宇宙・衛星事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
営業収益					
外部顧客への営業収益	58,716	24,088	82,804	—	82,804
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	2,375	4,101	6,477	△6,477	—
計	61,091	28,189	89,281	△6,477	82,804
セグメント利益	1,580	9,594	11,174	△272	10,903

(注1) セグメント利益の調整額△272百万円には、セグメント間取引消去104百万円と、各報告セグメントに配分していない全社費用△376百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。